

潮風にのせて

vol. 39

地域ぐるみで子どもに貴重な体験を - 50周年の先を見据えて -

開所以来最大の転機ととらえ

子どもの生活の様子が昔と比べずいぶんと変わってきました。自然体験や友達との遊びという直接体験に代わり、インターネットやスマートフォンを介した疑似体験の場面が増え、心身の発達に様々な影響を与えることが調査により指摘されています。また、私たちのふるさを見つめると、少子高齢化、過疎化が進み、改めて人のつながりを基盤とした地域づくりが求められています。反面、昨今のコロナ禍により、野外での活動が見直されてきていることも事実です。今年50年目を迎える香々地青少年の家では、今を創設以来の大きな転機ととらえ、今年度は大きく教育事業を刷新し、施設運営のあり方の見直しに取り組んできました。



写真：マリンスクール

改善志向の職場文化で未来に向かう

その一つとして、地域ぐるみ、つまり「人のつながり」で、施設運営の充実を図る「地域とともにある施設づくり」を柱とし多様な連携を進めました。県立施設ですので、「地域」は地元から大分県全体を範囲ととらえています。国立青少年教育振興機構とも連携し、これまで以上のPR活動を行い、その結果多くの団体の方々と共に、新しく魅力的な取組を生むことができました。協力をいただいた多くの方々にお礼申し上げます。今後も未来を見据え、県民の皆様が身近に感じる施設運営を図ってまいります。

今年度の取組につきましては、報告集をホームページに掲載しております。ぜひ、ご覧ください。



写真：キッズアドベンチャートレイル

令和3年度に始めた主な取り組み

- NBU日本文理大学人間力育成センターとの連携協定
- 「体験の風をおこそう」運動(ゆめ基金)の受託
- インスタグラムの開設(投稿207回) ※2月現在
- YouTubeチャンネルの開設(11本)

- 所報の発行(13年ぶり・年4回は開所初)
- 施設運営協議会の再開と熟議による討議
- 施設ボランティア登録制度(11名)
- 4点セットを活用した目標管理(自己評価)
- 不登校長期キャンプ(4泊5日参加49名)

協力いただいた団体



(左上から) 香々地子ども育成会/安部農園/SSMF岬ファーム/NBU日本文理大学人間力育成センター/NPO法人アンジュ・ママン/NPO法人水辺に遊ぶ会/大分県北部地区森林・林業活性化協議会/大分県立国東高等学校双国校/KNGCくじゅうネイチャーガイドクラブ/Buzzカレラワークス/有限会社福田林業・きつき森の遊び隊/国東半島峯道ロングトレイルクラブ/ぶんごシェアリングネイチャーの会

活動報告

個別最適な学びの実現に向けて「ふれあい活動日」

- 青少年教育施設における不登校対策事業 -

香々地青少年の家では、平成6年から不登校傾向にある子どもたちを対象にした「ふれあいキャンプ」を行ってきましたが、今年度から教員を常時配置し、自然環境に恵まれた施設を年間を通じた居場所とするため、「ふれあい活動日」を開始しました。これは、来所日も活動内容も子ども自身が決め、それに職員が対応するものです。あらかじめ日程と活動内容が決められたこれまでの「ふれあいキャンプ」と違い、子どもの自発的な学びに向かう力を養う、いわば「個別最適な学び」の実現に向けた取組と言えます。当初、関係者からも本当にうまくいくのかと心配する声もあったこの取組ですが、予想以上の活動を行うことができましたので報告します。今後もさらに受入体制を充実させたいと考えています。

日時	活動内容	参加人数	日時	活動内容	参加人数
5月3日	SUP・キャンプ	2名	10月30日	テント泊	2名
6月2日	科学実験	22名	11月20日	森フェス参加	2名
7月24日	テント泊	1名	11月24日	科学実験	30名
8月29日	ウインドサーフィン	1名	12月19日	プラネタリウム	1名
9月18日	プラネタ・図書館	4名	3月5日	森の生き物観察	1名

※科学実験はフリースクールに出向いて実施



新たにホダ場を設置 - クヌギ林の循環システムを活用した「しいたけ栽培」-

【クヌギの森の循環システム】 クヌギの森としいたけ 【原木しいたけを生み出すシステム】

管理されたクヌギ林 → クヌギの伐採 → 三切り → 二打ち → 伏せ込み → 伏せ込み後、2年目の秋が訪れた時にホダ木を配る → クヌギの萌芽 → クヌギの再生

原木しいたけ栽培は、木の腐解が速く、新地が覆われているこの香々地青少年の家において、採集と生活の糧(なりわい)として大切な森林資源だったんだなー!!

クヌギは切ってから約15年経ったしいたけ栽培に適したサイズになるよ! 菌物の成長には、長い時間がかかるんだね!!

世界農業遺産(GIAHS)とは? Globally Important Agricultural Heritage Systems (GIAHS)とは? 国際農業遺産(AOIS)は、次世代に受け継がれるべき農業遺産として、食文化、農業、生態系など多岐にわたる農業遺産を保護・継承し、持続可能な農業の発展に貢献しています。2019年5月に世界農業遺産に認定されました。

国家半島半島地域 世界農業遺産 国東半島半島地域

香々地青少年の家では「学びと健康の森」にあるクヌギ林を活用し、しいたけの栽培を行っています。毎年の恒例行事であるコマ打ちには多くの方に参加していただいています。しかし今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のために残念ながらイベントが開催できず、職員で作業を行いました。新たなホダ場として、念願であったクヌギ林に隣接する場所へ移設することができました。また1つ、森の中に学習拠点が完成しました。



森の中に設置している説明看板

R4 新規取組

「森の子学校」体験活動推進事業

香々地青少年の家敷地内の「学びと健康の森」や「キャンプ場」を活用し、学校教育と連動した事前学習、直接体験、事後学習からなる学習プログラムを実施し森林・林業教育の推進を図ります。

ステップ① 森に触れ親しむ活動	ステップ② 森を学び理解する活動	ステップ③ 森作りを体験する活動
・樹木観察 ・自然体験 ・植物の標本作り ・野鳥の巣箱作り	・炭焼き ・しいたけの駒うち ・防災学習 ・間伐材クラフト	・間伐体験 ・枝打ち体験 ・下草刈り ・製材所見学

体験活動を推進するためのフィールドの整備
副読本「大分県の森林・林業」(R3発行)で教育課程と関連付け

集団宿泊活動 に関する調査研究

3月に発行する「大分県版宿泊体験活動のてびき」を受け、令和4年度利用する学校の実施状況を調査し、望ましい集団宿泊活動の在り方について検証します。

- ①調査研究
調査5～9月 検証・報告10～3月
- ②集団宿泊活動指導者研修会
5月13日(金) 6月13日(月)
- ③豊かな体験活動推進研修(教職員研修)
一般選択
5月31日(火)
中堅選択
8月3日(水)
- ④ボランティア活動
実地研修1泊2日
対象:大学生

※②～④は関連事業



おしらせ

開所50周年 施設も装い新たに

香々地青少年の家は昭和48年8月に開所しました。今年でちょうど「半世紀」となる50年目を迎えます。

この節目を迎えるにあたって、平成29年から進めてまいりました施設の大規模改修も終盤を迎えています。別館の内装工事も3月に完了し、宿泊施設は冷暖房完備となりました。トイレも洋式化、温水洗浄便座つきとなります。今後はキャンプ場の敷地改修にかかります。好評のキャンプ場の一般利用は9月からとなります。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。



サイクルラックが玄関ホールに完成



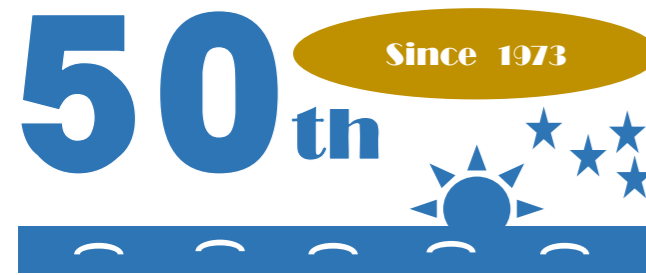
別館宿泊棟の工事完了まであとわずか

開所50周年記念ロゴ

K.COMPANYとは、香々地青少年の家に集い時間を共に過ごす仲間のこと(子ども、指導者、大人、職員など全ての人々)を示しています。

おかげさまで50年 香々地青少年の家

K.COMPANY
Sea & Star Museum



海と星のミュージアム通信 かかぢ理科実験教室

Kakadi-Labo

香々地青少年の家では、県内在住の児童生徒を対象に定期的に「理科実験教室」を開催しています。今年度は10回開催し、のべ150名の方が参加されました。開催した講座を紹介します!

綺麗なあ♡

花火の色を「炎色反応」で確認だ!

線香花火を作ろう

「空気のカ」

見えない力の不思議

シュワシュワしょんよ!!

マドラーを作ろう

7色サイダーを作ろう

すっごくよく飛ぶ紙飛行機を作ろう

★ 令和4年3月5日(土)「森の生き物ワンダーランド」を開催しました ★

体験メニュー

- ①森を支える小さな生き物(指標生物採集)
- ②森を支える小さな生き物(ツルグレン法)
- ③バードウォッチング
- ④どんぐりウォークラリー
- ⑤フィールドピング
- ⑥どんぐりアクセサリー作り



海と星のミュージアム
大分県立香々地青少年の家

TEL:0978-54-2096

FAX:0978-54-2152

E-mail:a31514@pref.oita.lg.jp

